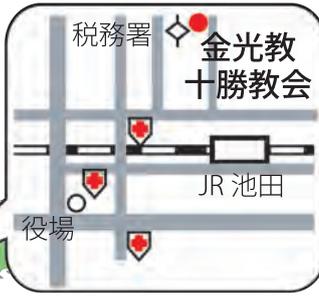


TEL 015-572-2322  
FAX 015-572-4213



Facebook「金光教十勝教会」  
<http://kontoka.webcrow.jp>



金光教十勝教会  
〒083-0001  
池田町旭町1-9

# 十勝教会 だより 92



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式HP

「氏子、信（芯）なければ、おかげはなし」

金光教十勝教会

※以下教祖様の御教などは  
全て現代語訳をしています

信心をせよ、信心ということとは、「しん」は「我が心」、「じん」は「神」である。我が心が神に向かうことを「信心」と言う。

いくら神の恩徳の中に生かされていても、氏子に信心がなければ神のおかげを受けることはできない。

これは教祖様が市村光五郎という信者さんに説かれた御教えです。金光教の「信心」は「心神」、つまり自分の心が神様に向かうことだといひ、これができるにないといひ、これほど神様がおかげを授けてくなくても受け取ることができないといひます。

この御教えを聞いた市村さんは、

ランプに油がいっぱいあっても芯がなければ火を灯せないのと一緒で、信心が無ければ世間は暗闇で先が見通せない。火が着かなければ世は暗いまま。信心とはそういうものなのだ。

と思いつたと書き残しています。



昔のランプ（行灯や灯籠やカンテラ）の燃料は菜種油（サラダ油）が主。今の灯油と違い直接油に火を着けることは難しく、必ず「灯芯」を備え、その芯に火を着ける必要があった（ロウソクも同じ）。

天地金乃神様は、「願う氏子におかげ

を授ける」と仰っています。もつたいないことに、私たちが願えばおかげを授けてくれるというのです。しかし神様は同時に、「氏子、信心いたしておかげ受けい」とも仰っています。神様も「願ってくれればおかげはやるが、ただし、そちらが信心しないと受け取れないからな」と言い、やはり「おかげを受け取る信心をなさい」と言われています。



そのおかげを受け取るために必要な信心が、市村さんが言う「ランプの芯」の信心です。どうすればこの「芯」を手に入れることができるか。教祖様は「我が心が神に向かう」ことが信心だと言っていました。つまり神様に心を開けることができれば「芯」ができるのだと言います。

それでは、「神様に心を開ける」にはどうすればよいのでしょうか？  
「心を開ける」とは目を開ける、気を配る、意識することをいいます。とす



たとえ神様  
そのものを感  
じることはで  
きなくても、  
太陽の光やぬ

ると「神様に心を開ける」は「神様に目を開ける、神様を意識する」ということになるでしょうか。  
とは言え、神様に目を向けようにも、神様を意識しようにも、神様は目にも見えず、声も聞こえませんからなかなか難しいものがあります。  
そこで教祖様は、「太陽が照らしてくれるのは神様のおかげ、雨が降るのも神様のおかげ。私たちは神様のおかげに生かされている」ということをひたすら説かれ、「天地の働きを通じ神様に支えられて生かされていることを悟って、常に神様へのお礼の気持ちを持てるよう稽古をなさい」と言われ続けてきました

くもり、大地の恵みなど私たちが生かし支えてくれる天地の働きを見ることができ、感じることもできます。その天地の働きを整えてくださり、ものみなを生かし育む存在が私たちがいたただく天地金乃神様です。  
まずは太陽や大地といった「目に見える」、「私たちが生きていくのに無くてはならないものにお礼を言う」稽古をしてみるのはどうでしょう。

天地にとどまらず生きていくのに無くてはならないものは他にもいっぱいありますね。家族、水道や電気や医療、食べ物、車や家や服、それにお金も…、よく考えてみると「これが無ければ生きていけない、生活に欠かせない」ものがいっぱいありますね。そういうものにお礼を言う稽古をしていくことが結局「神様に心を開ける」ことに繋がっていくという教祖様の御教です。



一寸先のことさえ見通せないのが人間です。科学技術や社会の発達のおかげで、昔にくらべると暗闇のちよつと

先を見通せるぐらいの灯りは手に入りました。しかし、昨今のコロナ騒動を取りあげるまでも無く、半年後あるいは一年後、自分たちの暮らしがどうなっているのか未だに見通すことはできません。まさに行く先は「神のみぞ知る」です。それならば、自らの行く先を導いてもらえるよう神様に願えばよいではないですか。

○

教祖様は「信心をして、安心に生活するのが氣楽でよろしいではないか」と、先のことが見通せない人間も信心さえすれば、安心で氣楽に暮らすことができると言っています。

そのためにも、神様が授けてくれたおかげに火を灯し、自らの行く先を照らせるよう「ランプの芯」を整えておかないといけ

世話になる何事にもお礼の心を忘れないよう、毎日の稽古「信心」に取り組んでいきましよう。



教祖のお広前(復元)

教会日誌

令和3年8月1日から10月31日まで

8月1日 音更町、M家、告別式。

8月5日 音更町、M家、旬日祭。

8月9日 釧路市、I家、葬儀式。10日まで。

8月13日 帯広市、I家、靈祭・納骨奉告祭。

8月15日 布教功労者報徳祭、三代教会長五年祭、二代教会長夫人三十年祭。

写真

布教功労者報徳祭  
三代教会長五年祭・二代教会長夫人三十年祭



早いもので三代教会長が亡くなって五年が経ちました。先生が亡くなった平成28年は、四つの台風が北海道を襲った年でしたが、みなさん覚えておられるでしょうか？



8月25日 音更町、M家、旬日祭。  
 8月28日 滝上礼拝所大祭。  
 8月29日 滝上町、M家、式年祭。

写真 滝上礼拝所大祭

上 礼拝所神前(右)と霊前(左) 下 祭典後の直会の様子

今年7月19日、滝上教会は十勝教会に合併・閉鎖となりました。これからは「滝上礼拝所」と名前を変え信心に取り組んでいきます。

9月5日 釧路市、I家、旬日祭。

9月14日 音更町、M家、合祀祭・納骨祭。

9月17日 恵庭教会会長葬儀式、教会会長会葬参拝。

9月18日 帯広市、S家、式年祭。

9月19日 札幌市、K家、T家、式年祭。

9月23日 秋季霊祭

9月25日 釧路氏、I家、合祀祭。

9月26日 音更町、M家、式年祭。

10月1日 道東地区教会連合会の取り決めで今秋の大祭交流の中止が決まる。

10月2日 帯広市、M家、感謝祭。

10月11日 士幌町、M家、式年祭。

10月17日 網走教会大祭、教会長教話奉仕。

### これからの主な教会行事

- 薫別講社生神金光大神大祭 12月 5日(日) 午前11時
- 越年感謝祭(年越大祓) 12月31日(金) 午後1時30分
- 元日祭 1月 1日(土) 午後1時30分
- 滝上礼拝所新年祭 日時未定

### 刊行物(本)のお知らせ

#### 「写真でみる 十勝教会の沿革」(無料)

教会設立100年を記念して「写真でみる 十勝教会の沿革」を刊行しました。主に昭和20年代以降の教会活動や信徒会活動、団体参拝の様子がまとめられています。

記念祭の直会として配布していますが、お持ちで無い方などご希望の方がいらっしゃいましたら教会までご連絡ください。

#### 「ありのままを頂く」(無料)

金光教入田教会長・瀬戸信吉先生による教会設立100年記念祭での教話録です。令和3年秋の大祭の直会として配布します。